

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2212
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	漏水防止対策事業				
根拠法令等	水道法		(A) 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象	送・配水管及び給水施設の
手段	漏水箇所の早期発見と修繕をすることにより
想定する成果	有収率の向上を図る

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
漏水調査延長	8.6 km	5.0 km	7.5 km
戸数	5,575戸	3,200戸	3,020戸
漏水発見箇所	35箇所	19箇所	-

成果指標

成果指標名	有収率
成果指標の説明	給水量 / 配水量 × 100

事業の進捗状況 (水道企業会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	94.0%	94.0%	94.0%
	実績	94.8%	95.8%	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	3,490	3,045	9,928
	人件費	83	82	4,211
	(人数)	0.01	0.01	0.50
	合計	3,573	3,127	14,139
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,573	3,127	14,139

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	他の要因（火災、漏水等）により成果指標に反映されない事がある。
経済効率性	2	2	H14年度実績漏水箇所19件、10,135 / 年、1,623千円 / 年の防止ができた。
事務効率性	2	2	漏水は、規模・件数も予測できないので最低の体制が必要である。
必要性	3	3	有収率の向上をはかる為に、事業者が実施・管理すべき事業である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	事業者の調査により発見される場合と、市民からの通報もある。
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	5年サイクルで市内全域の調査を終了し、有収率向上のため漏水防止に努める。
------	---	---	--------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

漏水や濁水の原因になる老朽管の更新を計画的に実施した。 漏水等の修繕の迅速化に努めた。

今後改善すべき点

当年度で実施する調査区域を拡大して、7年の実施サイクルを5年に縮小する。

平成16年度予算に反映する項目

上記のために、漏水調査延長の増加を予算要求したい。

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2213
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	配水場維持管理事業				
根拠法令等		水道法	A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

総合計画での位置付け
基本目標

施策名	水資源
快適でやすらぎのあるまちづくり	

事務事業の内容

対象	配水場等の施設を
手段	維持管理することにより
想定する成果	安定給水に努める

事業の概要

(千円)

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
主な事業	配水池滅菌剤注入管布設替工事538	残留塩素計取替工事 1,315	監視装置更新工事 5,455
	配水池流入管改良工事 1,321	送水ポンプ取替工事 1,903	流入弁改良工事 8,055
	設備保守点検委託業務 6,933	設備保守点検委託業務 6,866	設備保守点検委託業務 9,830

成果指標

成果指標名	維持管理費
成果指標の説明	維持管理費

事業の進捗状況 (水道企業会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	32,901
	実績	17,868	12,168	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	17,868	12,168	32,901
	人件費	25,491	25,202	25,687
	(人数)	3.05	3.05	3.05
	合計	43,359	37,370	58,588
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	43,359	37,370	58,588

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	年間を通じて、配水池が適正に稼働できた。
経済効率性	2	2	指名競争入札を実施した。
事務効率性	2	2	専門的知識も必要なため、多分野に及ぶ知識が必要になる。
必要性	3	3	震災対策として、災害時の応急給水ができるよう配水場等の施設を改良する。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	-	-	
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	施設を改良する工事が続くが、今まで維持管理的なものが多かった。年次的な計画を検討する時期であると考え
------	---	---	----------------------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

施設の能力を維持できる最少限の改良工事を実施してきた。

今後改善すべき点

平成15年度より震災対策として、改良工事を行う。施設改良を年次的にとりまとめ、予算どりをしたい。

平成16年度予算に反映する項目

ポンプ場のポンプを水中式から陸上式に替える。流量計、水位計のない施設を改良し、集中管理できるようにしたい。

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2217
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	上水道施設管理システム構築事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象	水道施設について
手段	管理用台帳を紙ベースからデジタルベース化することによって
想定する成果	台帳の劣化の防止、断水、赤水等緊急時の迅速な対応、データの分散化で災害に対応する。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
事業内容	-	送・配水管データ及び 属性情報入力 L=585 k m	給水取出管入力 31,000件 弁・栓類入力 6,000箇所 写真データ作成 5,000枚

成果指標

成果指標名	事業進捗率	
成果指標の説明	事業費 / 全体事業費 × 100	

事業の進捗状況 (水道企業会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	98.0%
	実績	-	43.4%	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費		13,879	17,472
	人件費		4,544	4,632
	(人数)		0.6	0.6
	合計	0	18,423	22,104
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	0	18,423	22,104

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	平成14年度分については計画どおり進捗した。
経済効率性	3	3	他市等のシステムを研究し合理的、経済的なものを採用した。
事務効率性	3	3	当市の要求内容を満足するため、プロポーザル方式で業者選定をした。
必要性	3	2	データの属性情報を利用して緊急時に迅速な対応をはかる。
小計	12 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	0	0	埋設管等の情報を公開する。
合計	12 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

近隣の市町やセミナー等で資料を収集し、下水道施設管理システムと連携をとり、1つのサーバーにしてコストの削減をはかった。

今後改善すべき点

初期投資については15年度に完了予定

平成16年度予算に反映する項目

追加、修正分データ作成及びシステムリース料及び保守管理費

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2213
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	水質管理事業				
根拠法令等		水道法	A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

総合計画での位置付け
基本目標

施策名	水資源
快適でやすらぎのあるまちづくり	

事務事業の内容

対象	水道水の
手段	水質管理をすることにより
想定する成果	衛生的で安全な水道水を供給する

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
日常検査	市内33ヶ所×100回/年	同左	同左
毎月検査	市内9ヶ所×12回/年	同左	同左
全項目検査	市内3ヶ所×1回/年	同左	同左

成果指標

成果指標名	残留塩素適合率
成果指標の説明	適合件数 / 全件数 × 100

事業の進捗状況 (水道企業会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	99.0%	99.5%	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	2,421	2,692	3,074
	人件費	5,850	5,784	5,895
	(人数)	0.70	0.70	0.70
	合計	8,271	8,476	8,969
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	8,271	8,476	8,969

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	検査結果は、ほぼ100%であるが、浄水場からの残留塩素濃度が小さいため不足を配水場で補う。
経済効率性	2	2	薬品（塩素剤）については、単価契約を結んでおり、費用の低廉化に努めている。
事務効率性	2	2	専門的知識が必要な事務事業である。
必要性	3	3	水道法上検査は不可欠である。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	日常において、市民からの苦情等要望が強い事業である。
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	安全でおいしい水を供給するため、全項目以外は、即応性がある市単独検査が今後とも必要と考える。
------	---	---	------------------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

薬品を注入する機械等修繕することにより、薬品の使用量軽減を図った。

今後改善すべき点

水道法改正に適應した適切な対処をしたい。

平成16年度予算に反映する項目

水道法改正により、水質検査手数料を適正に見積りたい。

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2217
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	配水管網整備事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	①その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象	送・配水管について
手段	布設、布設替え（更新）をすることで
想定する成果	未整備地区及び漏水事故の減少、耐震性の向上等による安定給水を図る

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
新設	延長 L= 474m	延長 L= 10m	延長 L= 20m
布設替（更新）	延長 L=2,304m	延長 L=1,741m	延長 L=2,282m

成果指標

成果指標名	更新率	
成果指標の説明	累計更新延長 / 更新計画延長 × 100	

事業の進捗状況（水道企業会計）（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	17.5%
	実績	6.4%	11.2%	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	149,355	158,560	159,664
	人件費	6,686	6,610	6,737
	(人数)	0.8	0.8	0.8
	合計	156,041	165,170	166,401
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	156,041	165,170	166,401

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	3	3	計画どおり進捗している。
経済効率性	3	3	浅埋設を採用して土工事費の節減をはかっている。
事務効率性	3	3	専門的な知識が必要である。
必要性	3	3	安全で、安定した給水を行うことが事業者の責務である。
小計	12 / 12 満点中	12 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	漏水、濁り水等の通報箇所を施工順位に考慮している。
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

耐震性継ぎ手管、赤さび対応機材の採用をしている。
(H 8 ～ H 1 4 原則200mm以上の管に耐震性継ぎ手管を採用した。)

今後改善すべき点

給水のブロック化を考えた管網の整備を進めてゆく必要がある。
H 1 5 からは150mm以上の管に耐震性継ぎ手管を採用する。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2212
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	代用配水管事業		
根拠法令等	蒲都市水道事業給水条例	A 法令	B 条例	C 規則	D その他 E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象	未給水者に
手段	給水区域内で配水管の未施行箇所の給水希望者に代用配水管を設置することにより
想定する成果	未給水者の減少をはかる。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
件数	30件	34件	35件
延長	1,480m	1,460m	1,500m
戸数	47戸	53戸	70戸

成果指標

成果指標名	普及率
成果指標の説明	給水人口 / 行政人口 × 100

事業の進捗状況 (水道企業会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	99.6%	99.6%	99.6%
	実績	99.6%	99.6%	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	24,140	26,370	34,055
	人件費	5,014	4,957	5,053
	(人数)	0.6	0.6	0.6
	合計	29,154	31,327	39,108
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	負担金	2,209	1,077	0
	一般財源	26,945	30,250	39,108

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	申し込みに対して、全て実施できた。
経済効率性	2	2	最低の施工費で実施して経費の節減に努めている。
事務効率性	3	3	申し込みにより事業量が変動するので難しい。
必要性	3	3	給水区域内に完全に配水管が埋設されない以上、市民へのサービスを考えると必要な事業である。
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	近年は郊外に住宅を求める人が増えて要望が多い。
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	申込者からの要望に、十分対応している。
------	---	---	---------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

安定給水に努めるため布設口径を大きくした。

今後改善すべき点

効率的な配水管布設計画を実施して、代用配水管の施行件数を削減する。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載